



君のいる場所 Separate Ways

ジミー作・絵
宝迫典子訳
小学館 2001



今月と来月合併号のはと時計のテーマは、「恋愛」！司書体験の子たちがテーマを選んでくれました。恋愛小説や恋物語みなさんにとっても人気ですね。さて、今月2月14日はバレンタインです！みなさんも友だちや好きな人にチョコレートをおあげるのかな？そんな今月は司書の部屋も、恋愛の本にしようと思います。とってもおしゃれでデザイン性も高いこの1冊。

この絵本を描いたジミー・リャオさんは台北在住の絵本作家さんで、絵本を描く前は、広告代理店につとめ、デザイナーをしていたそう。（白血病のため、仕事をやめ、絵本作家になったのだそうです。）構成やページのデザイン、そして色合いがすてきなものは、そのせいでしょうか。この本もそうですが、映画化されているものもあるんですよ。

この本は、同じアパートメントに住む男女二人の物語。ふたりとも一つ壁を隔てた隣同士の部屋に住んでいるけれど、玄関を出ると、

「彼には右に行く癖があり、彼女には左に行く癖がある。

二人はめぐり会うはずもなかった。」

ふたりそれぞれの日常から始まり、出会うはずもなかったふたりが、ある日近くの公園で偶然出会う。しかしお互いがまさか壁一枚隔てた隣の部屋に住んでる者同士とは気づかず…。近いのに、遠い、二人のすれ違いがとってももどかしい！秋深まる10月から、春めく3月までのふたりの5ヶ月間を、季節の移り変わりとともにやさしく丁寧に描いています。今の季節にもぴったり、バレンタインもできてきますよ！

左右だったり、上下だったり、ふたりの日常を見開きでそれぞれ描いているページの構成がとってもおしゃれでショートムービーをみているようです。壁を隔てて、まるで背中合わせでふたりが生活するシーンを描いたページがわたしはとてすてきです。

また、文章もとてもセンスがあり、抒情詩のよう。「彼には右に行く癖があり、彼女には左に行く癖がある。二人はめぐり会うはずもなかった。」というフレーズを間に何度も用いているのも憎い演出です。

このおはなしを読んでいると、いつも岡田准一と麻生久美子が出演していた映画「おと・な・り」を思い出します。それにしても

隣同士に住んでいる人と恋におちるなんて、最高にロマンチック

…！寒い冬、ほっこり、きゅんとできる映画のような恋の

おはなしをながめてみませんか？